

～テロに注意してください～

- 1 2018年1月22日、ベルギー当局は、ベルギー国内のテロの脅威度評価を4段階中の3（テロの可能性があり、発生し得る。）から2（テロが発生する可能性は小さい。）に引き下げることを選択しました。
- 2 一方、ベルギー当局は、脅威度評価2は「テロの脅威の緊迫性が低いことを意味し、脅威が存在しないことではない」として、大都市における市街地での兵士の警戒活動はすぐには解除せず、脅威に比例した形で軍による警戒を維持するとしています。なお、ベルギーでは、2016年3月以降、下記（※）の事件が発生しています。
- 3 ベルギーへ渡航・滞在される方は、テロ事件に巻き込まれることのないよう注意が必要です。具体的には、以下に努めてください。
 - 最新の関連情報の入手に努める。
 - テロの標的となりやすい場所（#）を訪問する場合には、滞在時間を可能な限り短くし、避難経路を確認しておく等の安全対策を必ず講じる。
 - 政府関連施設（特に軍、警察、治安関係施設）には近づかない。
 - 周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど安全確保に努めるとともに、現地当局の指示があればそれに従う。

（#）コンサート会場、鉄道駅・空港等の公共交通機関、コンサート会場、記念日・祝祭日等のイベント会場、観光スポット、観光地周辺の道路、レストラン、ホテル、ショッピングモール、パブ、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設
- 4 その他、詳しくは、スポット情報や以下の資料を御参照ください。

安全対策基礎データ

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=172>

テロ・誘拐情勢

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror.asp?id=172>

（※1）

【ブリュッセル国際空港等における爆弾テロ事件】

- 2016年3月22日、ブリュッセル国際空港及び地下鉄のマルベーク駅（Maelbeek/Maalbeek Station）において爆発が発生し、多数が死傷。

- ベルギー政府はこれをテロ事件であると発表。一方、「ISIL ベルギー」と称する組織名で犯行声明が発出され、反 ISIL 連合への参加国に対する更なる攻撃を示唆。

(※2)

【ブリュッセル中央駅における爆発テロ未遂事件】

- 2017年6月20日、ブリュッセル中央駅において、男が小規模な爆発物を爆発させたが、警備に当たっていた兵士に撃たれた後に死亡。被害者なし。
- ベルギー当局は本事件をテロ未遂事件として捜査。

(※3)

【ブリュッセル市中心部における兵士襲撃事件】

- 2017年8月25日、ブリュッセル市中心部において路上をパトロール中の兵士3人が男に刃物で襲撃される事件が発生。男は兵士に撃たれた後に死亡。
- この事件について、事実上の ISIL の通信社とされる「アアマーク通信」は、「実行犯はイスラム国の戦士であり、有志連合に対する呼びかけに応じ、作戦を実行した。」との声明を発表した。

(了)